



学校・こどもエコクラブと地域との連携による環境学習

元・名古屋市立庄内小学校 牧 宏

プログラム名	グリーンコンシューマーになろう
参加対象	小学校高学年～中学生
実施時間	8時間程度（授業時間45分～50分を1時間として）
実施場所	室内及び近くのスーパーマーケット
ねらい	ごみを減らすためには、物を買うことを減らすという考えが大切です。このプログラムでは、グリーンコンシューマー（緑の消費者）という、環境によいものを考えて購入する消費者を育てることを目的とします。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活の中での環境を考えた品物について話し合う。 2 「どっちこっちスーパー」を行ったり、寸劇を見たりする。（ゲストティーチャーによる授業） 3 近くのスーパーに出かけて、環境によい品物、包装の少ない品物等を調べる。 4 調べたことをまとめて発表しあう。 5 家族と話し合い、生活の場で実践する。

1 学校・こどもエコクラブと地域との連携について

学校における環境学習・総合的な学習、こどもエコクラブ活動において、環境について学習していくことは自分たちの住んでいる地域についての学習の一環です。すなわち、地域を調べ、地域にある問題に気づき、考え、問題解決のために行動することです。

その意味では、地域の人々と連携していくことは、地域の人々の、地域に対する思いや願いを知ることができるということです。また、森林、海、川、町、ごみ問題、エネルギー問題等、地域に住む人として、専門家として、企業として、いろいろな人達とともに考え、行動し、より良い地域づくりをめざすということでもあります。そのように、地域の人々と連携するということは、学習としても、活動としても、意義があると考えます。

2 連携をどのように行うかについて

(1) どんな人とどんな分野で連携を行なうのか

- ① 人材—地域のグループ、NPO、大学の先生、専門家（自然観察員・環境カウンセラー・消費生活アドバイザー・森林インストラクター・ネイチャーゲーム指導員・野鳥の会）、行政（市町村役場・県や国の役所）、企業、施設（環境学習センター・博物館・水族館・動植物園等）等
- ② 分野—自然保護（森林）、ごみ問題・リサイクル、エネルギー、栽培関係、まちづくり、ビオトープ、食、河川、海、エコライフ（グリーンコンシューマーを含む）、開発等

(2) どんな連携の仕方をするのか

- ① ゲストティーチャーに一任します。
1回1～2時間程度で、内容をお願いし、または、一任して実施します。
- ② 学習の流れの中で、計画的にゲストティーチャーに登場してもらいます。
学習計画の中で、どこで、ゲストティーチャーに登場してもらうかを明確にして実施します。
- ③ テーマを決めて共同でプログラム作りを行ないます。
あるテーマに沿って、ゲストティーチャーとともに計画を立てて、その中で、どこで、どのように登場するかを打ち合わせて、実施します。
- ④ 年間のプログラムを共同で作ります。
年間のプログラムをゲストティーチャーとともに考え、実施します。

3 プログラムづくりの実際

(1) プログラムの参考例

「グリーンコンシューマーになろう」(総合的な学習の時間)

この学習では、ゲストティーチャーによる買い物ゲーム及びそれに関わる寸劇というような模擬体験を取り入れた活動により、環境にやさしい品物の選び方が分かることが大切な部分です。そして、実際の品物調べという調査活動につながったり、家庭での話し合いや買い物に生かされたりして、グリーンコンシューマーの理解につながります。その意味で、この学習の中では、ゲストとしての地域の人との連携は大切です。

① 生活の中での環境を考えた品物調べ

トイレットペーパーを例に、3種類の中から、どれを選ぶか話し合います。(パルプ100%のもの、古紙再生紙-学校で使っているもの、牛乳パック再生のもの)

身近なものを取り上げて、同じ種類の品物でもいろいろなものがあることに気づかせ、環境にやさしい品物を調べていくための興味・関心をもたせます。ここでは、どれを選ぶと正しいかということより、それぞれが選んだ理由についての話し合いを大切にします。グリーンコンシューマー学習の導入にあたります。

② 「どっちこっちスーパー」(品物選びゲーム)を行なったり、それに関わる寸劇を見たりして、環境によい品物の選び方を知ります。(ゲストティーチャーによる授業の場面)

(ア) 「どっちこっちスーパー」(品物選びゲーム)を行なう

「お買い物表」を使って、同じ種類の品物で、2つのうち、どちらを選ぶかをゲーム感覚で行ない、記入します。

どっちこっちスーパー お買い物表

1～8番まで、お買い物いただく商品を選び、AまたはBに○をつけてください。

1 きゅうり	A	B
2 キーウィ	A	B
3 ウィンナー	A	B
4 チョコレート	A	B
5 洗剤	A	B
6 トイレットペーパー	A	B
7 電池	A	B
8 傘(かさ)	A	B

※ ふりかえりシートの例 参照



「どっちこっちスーパー」の説明の様子

「お買い物表」にAかBかを記入することにより、子ども達はクイズ形式で選択するかもしれませんが、知らず知らずに自分の選択基準で考えさせることとなります。そのことが、このゲームでは大切です。

(イ) 「どっちこっちスーパー」寸劇

「どっちこっちスーパー」お買い物ゲーム終了後、ゲストティーチャーによる寸劇を見ます。環境に関心のある主婦とまったく関心のない主婦、2人が話しながら、ゲームと同じ商品について買い物をしていきます。



寸劇を見終わった後、A・Bどちらを選ぶと環境にやさしいのか種明かしをします。

「どっちこっちスーパー」寸劇の様子

最後に、ねらいがきちんと伝わったかどうか、振り返りを行ないます。

寸劇により、「どっちこっちスーパー」での環境にやさしい品物の選択の仕方について、子ども達にイメージアップを図りながら、分かりやすく説明します。そして、子ども達は、環境にやさしい品物、やさしくない品物を選ぶ時の基準について、知ることができ、環境についての理解を深めることができます。

③ 近くのスーパーに出かけて、環境によい品物、包装の少ない品物等を調べます。

(ア) グループで、調べる品物について決めます。

例 飲み物、日用品、衣類・靴、生鮮食料品（野菜・果物等）、文房具、本、加工食品

(イ) 調査観点（環境のための工夫・ついているマーク等）を話し合います。

- a 再生品(リサイクルされたもの) b 長く使える
- c リサイクルしやすい d くりかえし使える
- e 商品の袋や包みが少ない f 使う資源や電気の量が少ない
- g 地球を汚さない h 自然のことを考えて、資源をとっている。
- A エコマーク B グリーンマーク C その他のマーク

(ウ) 調べたことを「環境を考えたもの 発見！シート」にまとめます。(次ページ参照)

自分の目で商品を見て、調べるというグリーンコンシューマー体験をすることによって、環境にやさしい品物に対する理解を深めることができます。

④ 調べたことをポスター・壁新聞等にまとめて発表し合います。

⑤ 家族と話し合い、生活の場で実践します。

家庭でのグリコン会議、家庭でのグリコン買い物体験を行ないます。

グリーンコンシューマーになることは、生活の場での体験が必要になりますので、小学生・中学生にとっては、家庭での話し合いや買い物体験を通して、学校での学習を広げることができます。

(2) 連携のために、必要なこと

① 打ち合わせの日の決定

連携して学習や活動を行なうことになったならば、都合のよい日を決めて打ち

合わせを行なう必要があります。

② 打ち合わせ内容についての説明

打ち合わせでは、学習・活動を行う日の決定、行なう場所及び下見、準備するもの、どんな教科のどんな内容（単元）の所で行なうのか、実施時間、ゲストの人数、教材費の有無等、話し合います。

③ ゲストの学習での位置づけ

学習・活動では、ゲストは学習計画のどの時間に位置づけられているのか、どんな内容で学習・活動を行うのかを明確にしておく。

④ 活動・学習の形態

学習の形態は、学年全体の一斉に集まったの学習なのか、クラスごとの個別の学習なのか、いくつかの分科会へ自由選択するのか等、決めておく必要があります。

⑤ 評価の方法（反応、成果のとらえ方）

学習・活動終了後、ふりかえりシート（次ページ参照）に書かせるのか、アンケート調査をするのかを考えておく必要があります。

⑥ PTA等の参加・協力について

PTAにも呼びかけて、授業参観してもらったり、可能ならば、一緒に授業に参加してもらったりできると理想的です。

⑦ 地域の人々の組織の把握

地域と連携して学習・活動を行うには、地域にどんな人（グループ）が活動しているのか把握しておく必要があります。

例 市町村の環境担当、NPO関係（中部リサイクル市民の会、名古屋水辺研究会、ネイチャークラブ東海等）、子どもエコクラブ関係（エコバンクあいち等）

環境を考えたもの 発見！シート

見つけたもの		
環境のための工夫	<p>●あてはまる番号をぬりつぶそう。</p> <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧</p> <p>●メモ</p>	<p>●あてはまる番号をぬりつぶそう。</p> <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧</p> <p>●メモ</p>
ついているマークや書いてあったこと	<p>●あてはまる番号をぬりつぶそう。</p> <p>① ② ③ (見つけたマークを書こう。)</p> <p>●書いてあったこと</p>	<p>●あてはまる番号をぬりつぶそう。</p> <p>① ② ③ (見つけたマークを書こう。)</p> <p>●書いてあったこと</p>
気づいたこと		

出典：グリーン購入ネットワーク「やってみよう！グリーン購入」

ふりかえりシートの例

グリーンコンシューマーになろう

「どっちこっちスーパー」はどうでしたか？

知らないままよさんは、環境にやさしい買い物について、ずいぶん考えるようになりました。
あなたが、今後、選びたい商品に○をつけて、その理由も書いてください。

1 きゅうり A 10本200円袋入り B 1本25円ばら売り

(理由)

2 キウイ A 外国産 B 国内産

(理由)

3 ウィナー A 化学的な添加物入り B 無添加

(理由)

4 チョコレート

A ミルクチョコレート B フェアトレードチョコレート

(理由)

5 洗剤 A 合成洗剤 B 石けん

(理由)

6 トイレットペーパー A パルプ100% B 再生紙100%

(理由)

7 電池 A アルカリ乾電池 B 充電式乾電池

(理由)

8 傘 A ビニール傘 B 修理可能な傘

(理由)

9 買い物バッグを持ちますか？

A 持たない B 持つ

(理由)

10 今日の劇はどうでしたか？

11 今後、環境を守るために、あなたができることは何ですか？

また、これから環境について調べてみたいことは何ですか？

資料提供：グリーンコンシューマー名古屋

